

神大教 〇稲垣知子 京教大 山崎隆, 杉本弘子 兵教大 岩崎雅美
和教大 福本富美子 滋大教 奥倉弘子 奈教大 中谷 和

目的; 健康で合理的な衣生活経営能力の育成と確実な定着を旨とした男女共学或は共修による小・中・高一貫性のある被服教育及びその教育内容について、我々の考之方と新しい視点にたつたカリキュラムなど、既に報告した。この中の最重要課題であった「被服製作」に関して、その明確な位置付けと指導内容の構築を計るべく、そのための基礎資料を得ることを目的に、義務教育初期における被服製作の現状調査を実施した。

方法; 昭和58年度～62年度大学入学生を対稱に学習してきた「被服製作内容」を、又、無作為抽出による近畿地区の小学校家庭科担当者に昭和62年度における「被服製作内容とその実態について」それぞれアンケート調査を行なった。集約した調査結果を基に小学校における被服製作の指導内容(題材)、取り扱い方法等について検討した。

結果; 1) 50年代前半と62年度の調査との両者には項目の分類整理の仕方による変動はあっても、被服製作内容に大きな変化はみられなかった。2) 製作内容から判断すると、手技・縫製の基礎、基本は確実に押えられているように思われる。

以上の実態から勘案すると、被服製作が単なる「物作り」ではなく、家庭科教育として総合的立場から多くの領域を関連させて、製作学習がなされていることは、我々の理念と一致する。従って、生活技能としての価値と必要性がよびその定着方法を考究し、創造力啓発のための題材開発や指導法などを真剣に考之るべきで、調査からは示唆に富んだ多くの結果を得ることが出来た。